

2020年3月期 第2四半期連結決算ハイライト

阪和興業株式会社
(単位：億円 億円未満切捨て)

2020年3月期 第2四半期決算の概要

・本年度第2四半期決算は、金属原料や石油製品などの商品価格が前年同期に比べ低い水準にあったほか、取扱数量も総じて減少したことから、売上高は前年同期比6%減の9,460億円となりました。一方、利益面では、営業利益は石油・化成品事業やその他の事業の貢献により増益となりましたが、支払利息や持分法による投資損失が増加したことなどにより、経常利益は、前年同期比0.2%減の108億円となりました。

・中間配当は75円を予定しておりますが、期末配当につきましては今後の業績見通しが得られ次第速やかにお知らせいたします。

経営成績	当第2四半期 (累計)	前第2四半期 (累計)	前年同期比		主な要因
			増減	増減率	
売上高	9,460	10,049	△589	△6%	(売上高) 金属原料や石油製品などの商品価格が前年同期に比べて低い水準にあったことや、取扱数量も総じて減少したことから、前年同期比6%の減少となりました。 (販管費) 前年同期比で約12億円の増加となり、その内、新規連結した子会社の影響は約6億円でした。また、人件費は約7億円(新規連結子会社分は約2億円)の増加でした。 (営業外損益) 営業外収益は約2億円減少し、営業外費用は約2億円増加しました。経常利益に対する主な影響は以下のとおりです。 受取配当金 : 前年同期比で約3億円の増加 受取利息 : 前年同期比で約5億円の減少 支払利息 : 前年同期比で約8億円の増加 為替差損 : 前年同期比で約7億円の減少 (特別損益) ・投資有価証券売却益7億円 : 有価証券の売却益 ・投資有価証券評価損37億円 : 上場有価証券に対する評価損の計上
売上総利益	397	379	17	5%	
販管費	260	247	12	5%	
営業利益	136	131	4	4%	
営業外収益	29	31	△2	△8%	
営業外費用	57	55	2	4%	
経常利益	108	108	△0	△0%	
特別利益	9	4	5	—	
特別損失	39	13	26	—	
税引前四半期純利益	78	98	△20	△21%	
法人税等	29	35	△5	△16%	
四半期純利益	48	63	△14	△24%	
親会社株主帰属分	51	65	△14	△21%	
非支配株主帰属分	△3	△2	△0	39%	
E P S	126.91円	161.53円	△34.62円	△21%	
四半期包括利益	26	51	△24	△47%	

セグメントの状況	売上高			セグメント損益(経常利益)			主な要因
	当第2四半期	前第2四半期	増減率	当第2四半期	前第2四半期	増減率	
鉄鋼	4,947	4,929	0%	78	77	1%	(鉄鋼) 取扱数量は減少したものの、鋼材価格は前年同期に比べると高い水準にあり、請負工事における完工収入などにより、増益となりました。 (プライマリー原料) SAMANCOR CHROME HOLDINGS PROPRIETARY LTDからの持分法投資損失が拡大したものの、前年同期の為替差損が差益に転じたことにより増益となりました。 (リサイクル原料) ベースメタルの国際価格が前年同期に比べて値下がりしたほか、ステンレススクラップや銅スクラップの取扱数量が減少し、減益となりました。 (食品) 主にエビ類の市況低迷や、連結子会社であるハンワフーズ(株)や丸本本間水産(株)が利幅を確保できなかったことに加え、前年同期の為替差益が差損に転じたことなどにより、減益となりました。 (石油・化成品) 原油・石油製品価格が低い水準で推移し、取扱数量も減少したものの、PKS(パーム椰子殻)などバイオマス燃料販売の採算向上や、船用石油の利幅増により増益となりました。 (海外販売子会社) 主に米国やアセアン地域での金属・非鉄原料価格下落と取扱数量の減少などにより、減益となりました。
プライマリー原料	1,230	1,558	△21%	13	0	—	
リサイクル原料	405	413	△2%	8	10	△18%	
食品	523	527	△1%	5	10	△50%	
石油・化成品	968	1,266	△23%	17	8	—	
海外販売子会社	1,316	1,506	△13%	0	6	△95%	
報告セグメント計	9,391	10,201	△8%	122	114	7%	
その他	444	393	13%	9	4	—	
合計	9,835	10,594	△7%	132	118	11%	
調整額	△375	△545	31%	△24	△10	—	
PL計上額	9,460	10,049	△6%	108	108	△0%	

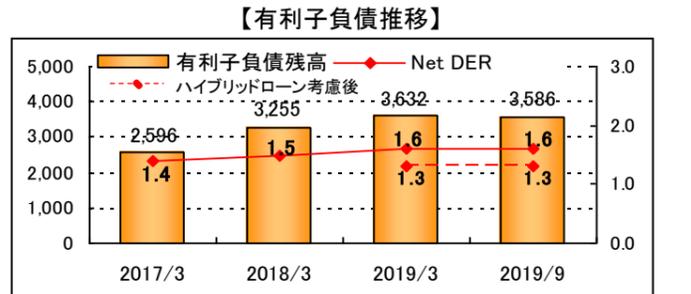
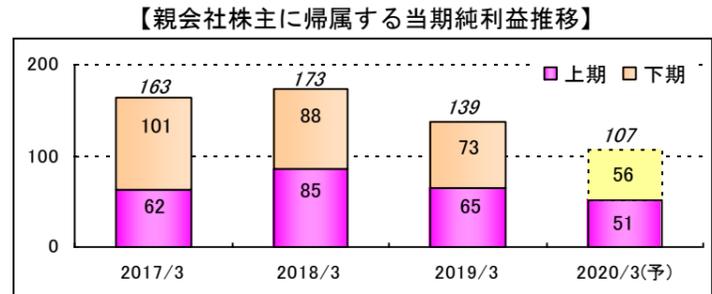
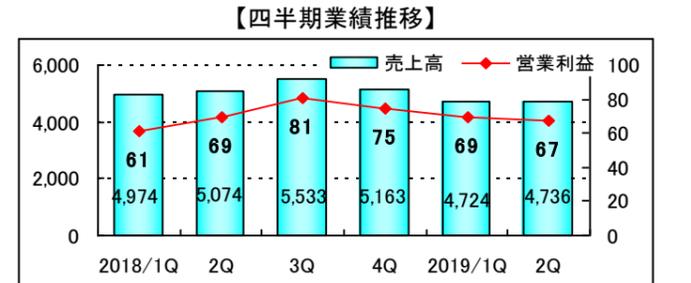
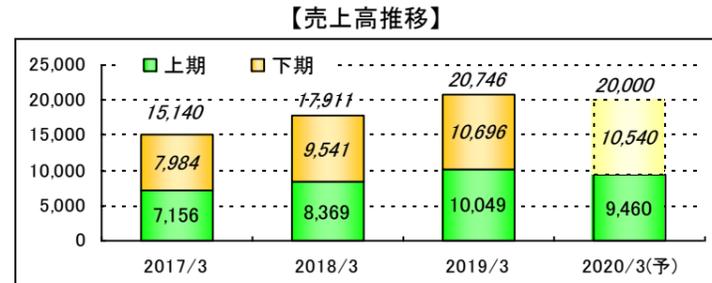
トピックス

5月 ・ベトナムのコイルセンターSMC HA NOI ONE MEMBER CO., LTD. の株式65%の取得を決定
(8月に株式取得完了し、社名をHANWA SMC STEEL SERVICE HA NOI COMPANY LIMITEDへ変更)

8月 ・当社初の統合報告書を発行

財政状態	当第2四半期末	前期末	前期末比		主な要因
			増減	増減率	
総資産	8,927	9,333	△405	△4%	(総資産) 売上高の減少に伴う売上債権の減少などにより、前期末比4%減となりました。 受取手形及び売掛金 3,687億円 (前期末比 △11%) (負債) 仕入債務の減少などにより、前期末比5%減となりました。有利子負債は1%減少し、ネットDERは1.6倍(1.3倍)となりました。 (純資産) 四半期純利益からの積み上げはありましたが、為替換算調整勘定を始めとするその他の包括利益累計額の減少により、前期末比0.3%減となりました。自己資本比率は前期末比0.9ポイント上昇の21.0%(23.8%)となりました。 (*ハイブリッドローン考慮後のネットDER及び自己資本比率)
(流動資産)	6,913	7,249	△335	△5%	
(固定資産)	2,013	2,083	△69	△3%	
負債	6,909	7,308	△399	△5%	
(グロス有利子負債)	3,586	3,632	△46	△1%	
(ネット有利子負債)	2,995	3,039	△44	△1%	
Net DER	1.6/1.3*倍	1.6/1.3*倍	△0.0倍	△1%	
純資産	2,018	2,024	△6	△0%	
(株主資本)	1,832	1,809	22	1%	
(その他の包括利益累計額)	44	72	△28	△39%	
(非支配株主持分)	141	142	△0	△1%	
B P S	4,618.28円	4,632.55円	△14.27円	△0%	
自己資本	1,876	1,882	△5	△0%	
自己資本比率	21.0/23.8%	20.2/22.8%	0.9pt	—	

キャッシュ・フロー	当第2四半期 (累計)	前第2四半期 (累計)	前年同期比		主な要因
			増減	増減率	
営業活動によるCF	143	△392	536	—	(営業CF) 預り金の増加や運転資金の増加が鈍化したことによるものです。 (投資CF) 有形固定資産や投資有価証券の取得によるものです。 (財務CF) 社債の償還による支出などによるものです。
投資活動によるCF	△50	△73	22	△31%	
財務活動によるCF	△106	484	△591	—	
現金及び現金同等物	591	376	214	57%	



通期の見通し	通期業績予想		前期実績	前期増減率 (修正後)
	修正前	修正後		
売上高	22,000	20,000	20,746	△4%
営業利益	355	310	289	7%
経常利益	280	185	233	△21%
親会社株主に帰属する当期純利益	192	107	139	△23%

配当の状況	前期実績	当期実績	当期予想
中間期	75.00円	75.00円	—
期末	75.00円	—	未定
年間配当	150.00円	—	—
配当性向	44%	—	未定